

[編集者]
**エディターの時代
が動き出した!**

町工ネットの会員にメールで送信したところ、
「こんな時代になったんだね」
「発信力を持たないと埋没しちゃうからね」
「Web女子力をエディターに、ということだね」
という返信がありました。
ズバリ、核心を射当てた反応で、意を強くしました。



**新建ハウジング
三浦祐成さんの
Facebook から**

花森安治編集長の頃の「暮らしの手帳」の広告。今でも通用するセンスと企画力、そして反骨精神。人も企業もメディア化し、すべての仕事に「編集」が必要になっていますが、ネット以前の天才編集者の仕事は参考になります。もう編集実務はしていませんが、またやりたくなります。



「Web住まいマガジンびお」は、
《住まい・暮らし・地域》を
キーワードにしたWeb雑誌。
全国版と地域(工務店)版を、ほぼ毎日更新します。
そのためには、エディター(編集者)を
育てることが急務の課題です。

町工ネットと手の物語(共同運営)は、
それを担う編集者を育成する「養成塾」を開始します。
そのタネになるコンテンツを、しっかり提供します。

《住まい・暮らし・地域》のWeb雑誌

Webマガジンが主に取り上げるのは、この3つのテーマ。「ハコ」としての住まいではなく、暮らすことを喜びに高める住まいを、七十二候に沿って、ほぼ毎日更新します。
地域の素景を取り上げ、価値としての地域を掘り起こします。共感・共鳴の渦を巻き起こして、工務店の存在を際立たせます。

**「Web住まいマガジンびお」の
尾内新編集長が、昨日着任しました。**

つい3日前まで、東京・丸の内にある社会人教育機関「慶應丸の内シティキャンパス」でOLをしていた尾内さん。毎日スニーカーで通勤していたそうですが、このたび転職を機に、浜松へ引っ越してきました。

◆本人の抱負
はじめまして。「Web住まいマガジンびお」編集長に着任いたしました、尾内志帆です。群馬県の「からっ風」育ちの私にとって浜松への転職・転居は、まるで故郷に帰るようです。雑誌の編集経験はありますが、本格的なウェブ媒体は初挑戦。皆さんと一緒にWebマガジンを作れることを、楽しみにしています!



編集顧問に西本和美さん

「Web住まいマガジンびお」の編集顧問として、新たに西本和美(季刊誌『住む』元副編集長)さんに加わっていただくことになりました。住まいと暮らしの名うてのエディターです。

【追記】
「日替わり連載」をお願いしていた西村佳哲さんの快諾を得られ、予定者全ての了解を得られました。尚、建築系が多いということで生活系執筆者にも交渉中。

町の工務店ネット入会のお勧め

今回ご紹介の、《ちいきのびお》を開設し、《びお養成塾》への参加のためには、町の工務店ネットへの登録を必要とします。ご登録いただき、《びお養成塾》にご参加いただきますと、町の工務店ネットと手の物語が蓄積してきた、イラスト・写真・記事・文言などの膨大なコンテンツを無料で利用できますが、それだけでないメリットをたくさん有しています。

同ネット設立までの経緯と、会員の特典についてご紹介しました。

何が核心なのか、どこをどう押せばいいのか、みんな迷っています。業界は、ZEH一辺倒で走っていますが、性能を無視して通れないことは分かっていますが、それが「差別化」になるとは思えません。

工務店に欠けているのは、伝える力・地域コミュニケーション力ではないかと気づき、今回の取り組みを開始しました。新建ハウジングの三浦さんがフェイスブックに書かれたことを紹介しましたが、今、求められているのは、工務店内とユーザーとを結び・つなぎ・共感できる世界を生み出す編集力です。

林修さんではありませんが、それをやるのは「今でしょ!」。

以上、ご案内まで。

非営利一般社団法人 町の工務店ネット

地域工務店の皆様へ〈町の工務店ネット〉ご案内

町の工務店ネットの歩み

町の工務店ネットは、2007年、〈住まいの本質重視〉を表明し、書籍『住まいを予防医学する本』（総ページ352p）の発行とともに、その活動を開始しました。

＊

2011年、阪神淡路大震災から15年を迎えるにあたり、〈“木の家”耐震改修推進会議（議長／養老孟司）〉の開催が計画され、町の工務店ネットが、その企画事務局を務めました。開催当日の1月17日、工務店、設計者、地震学者など全国から1000名を超える方々が神戸に集いました。

＊

奇しくも同じ年の3月11日に東日本大震災が勃発。この未曾有の大震災の前に、町の工務店ネットでは、新たに〈自然室温で暮らせる家〉をテーマに、「まずは建築でやれることをやろう」を掲げ、「びお（＝bio。語源：ギリシャ語のbios“生命の意”）ハウス」・プロジェクトを発足しました。具体的な商品住宅ではない、この〈考え方〉に対して、「びおハウス」に「グッドデザイン賞」が授与されました。

＊

2013年、小間切れの小さな部屋が連なる家を「ブドウ」に、大きな伸びやかなひとつの空間からなる家を「リンゴ」にたとえ、心地よい暮らしの場づくりについてを丁寧に伝える、書籍『リンゴのような家』（総ページ248p・書店販売）を企画・編集、発行しました。

＊

2016年、「里山住宅博 in 神戸」のプロデュースを担当。全国から大きな注目を集め、会場には全国からの多くの視察が訪れました。地域での工務店連携により実現したこの取り組みをスタートに、「家をつくる工務店から、町をつくる工務店へ」を提唱、各工務店ごとによる「里山のある町角」が、兵庫・愛知・香川など、各地で始まっています。

＊

現在、「半製品」共感・熟成通販ネット〈手の物語〉とともに、全国の地域工務店・地域設計者をネットワークし、広く「もっと建築でやろう!」を呼びかけ、活動を進めています。また、この10月1日より、「Web住まいマガジン“びお”」の発行をスタート。住宅業界にさらなる新風を吹き込み、時代に沿ったユーザーとのコミュニケーション手法を提案・実践していきます。

町の工務店ネットの活動

※以下より自社に合ったものだけを活用いただけます。

●住まいと生活に特化した「Web住まいマガジン“びお”」を発行（2017年秋、10月1日スタート）、ほぼ毎日更新します。

・「Web住まいマガジン“びお”」は、《みんなのびお》（全国Net／町工務店事務局担当）と《ちいきのびお》（地域工務店によるローカルWeb／会員工務店担当）のコラボレーションによる相乗効果を狙います。従来の媒体・方法ではいよいよ集客が難しい時代に入中、新たに生み出された、業界初のWebサイトです。

・会員工務店が、地域オンリーワンの「住まいWeb」を生むべく、《ちいきのびお》の企画・更新を行うにあたり、その基本となる〈編集〉を学ぶための「びお養成塾」を企画・開催します。

・《ちいきのびお》の企画・更新に必要な、イラスト・写真・記事（文言）等、様々なコンテンツ（過去10年間のストック保有）を、活用しやすい環境に整備し、貸し出し（無料・著作権の関係で一部有料も有）を行います。

●「半製品」共感・熟成通販ネット〈手の物語〉と連携し、「びおハウス」の考え方を基本に推奨アイテムを取り扱います。

●住宅業界の動きや新たな提案やイベント情報などをお伝えする「News Letter」を発行します。

●工務店相互に建物を見学し合い、現場に学ぶ勉強会を開催します。

●年に1回、「全国総会」を開催します。

●気候特性により全国を11地域に区分した〈びお気候区分〉による「地域適性化住宅研究会」を、随時各地にて開催します。（〈手の物語〉と共催）

●「失われゆく地域の自生種を探し出し、人の手を掛けて育てなければならない。その場はもう、個人の庭しかないのではなからうか」を根幹とする取り組み、「一坪里山」運動を進めています。

●長期優良住宅先導的モデル事業に三年連続5システムが採択された実績を持つなど、政府認定取得を図っています。

●「設計マニュアル」「システムマニュアル」（共同プロジェクト／現代町家）等を発行。

●パンフレットやリーフレット、のぼりなど、多彩な販売ツールがあります。

●要請があれば、工務店の自社販促物やWebサイトなどの制作（有料）もいたします。



町の工務店ネットの登録要件

1.町の工務店ネットは、工務店によって構成され、工務店によって運営されています。

2.一元的な技術によるフランチャイズではなく、多面的なネットワーク組織です。
・いろいろな技術・営業などノウハウをネットする交差点となります。
・他のフランチャイズ、グループ、ネットに入っておられても構いません。

3.工務店の規模・年間建築数等は問いません。理念への共鳴が基本です。
・登録に際し、書類提出と審査・登録の可否はありますが、規模は問いません。
＊年間完工数12棟前後の工務店が多く、丁寧な仕事という点では、30棟以下の工務店が望ましい。
＊反社会的な工務店は入会をお断りする場合があります。

説明懇談会・出張説明会等のお申し込み

2017年 月 日

希望内容	<input type="checkbox"/> 説明懇談会参加 → 〈参加日 ① <input type="checkbox"/> 7月13日(木) / ② <input type="checkbox"/> 8月9日(水)〉 <input type="checkbox"/> 出張説明を希望(要・旅費交通費) <input type="checkbox"/> お電話での説明を希望 <input type="checkbox"/> 詳しい資料を希望	TEL		FAX	
御社名		参加者名 or 連絡 ご担当者 様名			
御住所	〒	e-mail		携帯電話 (当日連絡先)	

【お問い合わせ先】

非営利一般社団法人 町の工務店ネット
〒432-8044 静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1
Tel : 053-570-9001 Fax : 053-570-9007 e-mail : info@bionet.jp

4.登録時に掛かる費用、及び、月会費は、以下（税別）となります。

◎登録時:登録費／30万円

◎月会費:3万円

◆登録費には、Webへの登録掲載料が含まれています。

◆各種イベント参加費、各社独自のツール制作費などは、含まれておりません。

◆「Web住まいマガジン“びお”」の《ちいきのびお》（工務店版ローカルWeb）の編集にあたり、《みんなのびお》（町工務店本部・全国Net）が保有するコンテンツ（イラスト・写真・記事等）を無料でご利用いただけます。

＊コンテンツご利用には、「びお養成塾」への参加が必要となります。
＊著作権の関係で、有料になるものもあります。

◆「手の物語」取り扱いの部材・建材を、割引価格にて購入できます。
＊取り扱い製品＝「自然室温で暮らせる家」をコンセプトに厳選した、町工務店推奨アイテム（びおソーラー／稚内逸品・メソポア珪藻土／木の繊維断熱材／Jパネル）

5.ツール類の購入、各種イベントへの参加は、原則自由です。

ご登録について（登録を検討されたい方へ）

〔登録をご希望される方へ〕

下記、町の工務店ネット事務局までご連絡ください。もしくは、弊社Webサイトより登録申請書をダウンロード・ご記入いただき、郵送、または、FAXにてご送付ください。折り返し、ご連絡させていただきます。

*登録申請書 → <http://machi-no-komuten.net/builder>
「参加希望の方へ」サイトより

〔登録を検討されたい方へ〕

詳しい内容をお知りになりたい方は、7月13日(木)・8月9日(水)に開催する「Web女子養成塾」緊急・説明懇談会にてご説明・ご相談を受けさせていただきます（参加費無料）。下記申込書、もしくは、別紙申込書(C)よりお申し込みください。

〔出張説明等、承ります〕

交通費を出していただける場合は、「出張説明」に伺わせてさせていただきます。出張要員に限りがありますので、第1回「びお養成塾」の期日前までに応じられない場合があることをご容赦ください。下記申込書、もしくは、別紙申込書(C)の下段〈ご希望にお応えします〉欄にてお申込みください。

詳しくは、Webサイトをご覧ください。
「びお」<http://www.bionet.jp/> 「町工務専用サイト」<http://www.machi-no-komuten.net/>